



昭和大学藤が丘病院

昭和大学藤が丘リハビリテーション病院

# 病院だより

2016年3・4月  
第309号

病院だより第309号 (2016年3・4月号)

発行者

昭和大学藤が丘病院

昭和大学藤が丘リハビリテーション病院

発行責任者

藤が丘病院長

高橋 寛

編集責任者

広報委員長

田中 淳一

〒227-8501

横浜市青葉区藤が丘 1-30

TEL

045-971-1151



2016年4月、両院合わせて201名のフレッシュメン、フレッシュウイメンを迎えました。

## 藤が丘病院院長に就任して

藤が丘病院 院長 高橋 寛

藤が丘病院は昨年40周年を迎えました

藤が丘病院は、昭和大学の建学の精神である至誠一貫を沿って、「使命感をもった医療人の育成と地域医療への貢献」という理念を掲げて1975年7月に開院しました。この節目の年を越えて、新たな歴史を刻む年に院長に就任したことは非常に光栄であるとともに、その責任の重さを改めて痛感しております。



前任の眞田裕藤が丘病院院長および三邊武幸リハビリテーション病院院長の推し進めた病院改革により藤が丘病院・リハビリテーション病院はこれまで背負ってきた負の遺産を払拭することができました。両院長ならびに、ともに改革に努力された職員の努力に感謝するとともに、更なる飛躍が求められていることも肝に銘じて今後の病院運営にあたりたいと思います。

藤が丘病院は横浜北部地域における中核病院としての機能が求められています。この要望に応えるためには高度医療の供給可能な病院力を備える必要があります。これはただ単に設備面での充実だけではなく病院スタッフとの協力による総合的な病院力の向上が求められています。病院力を高めることにより良質な地域医療への貢献が可能であると考えます。

また、地域医療に貢献するためには近隣医師会との協調が必要です。これまで眞田前院長は青葉区医師会の副会長として医師会活動に参加してきました。このことは、医師会との連携をよりスムーズに保ってきました。4月より私も青葉区医師会の副会長として医師会に参加しますので、今後も医師会との良好な連携を推進していく所存です。

医療安全や感染対策を中心とした病院機能の整備・維持、さらに大学病院としての研究面におけるリーダーシップや最新医療の提供など、藤が丘病院およびリハビリテーション病院に課せられた責務に答えるため、着実に一步一步前進する必要があります。

両病院に残された課題が多いことも事実であり、今後も昭和大学の一員として努力を重ねていきますので、どうぞ皆様の協力をお願いいたします。

## リハビリテーション病院院長に就任して

リハビリテーション病院 院長 市川 博雄

平成28年4月より藤が丘リハビリテーション病院院長に就任させて頂きました。5年前に藤が丘病院脳神経内科の医長となり、臨床、教育、研究だけに力を注いできた立場から一転、教室の運営にも携わるようになり運営の難しさに直面していたところ、藤が丘リハビリテーション病院全体の運営に急遽携われることとなりました。お引き受けはしたものの、若輩な自身にとっては今さらながらその重責が重くのしかかっているところであります。わからないことばかりというのが正直なところでございますので、先代の院長先生方にも教えを乞いながら、その責務を全うしてまいりたいと思います。



藤が丘リハビリテーション病院の大きな特徴は、大学の附属病院であり、かつ総合的なリハビリテーション医療を提供できるリハビリ専門施設である点であります。回復期リハビリテーション病床のほか一般病床もございます。このメリットを最大限に有機的に活かしながら、健全かつ安全な医療を提供してまいりたいと思います。

また、昭和大学には保健医療学部がございます。リハビリテーション科、各部署の協力のもと、理学療法士、作業療法士の教育や実習の場としても重要な役割を果たしてまいりたいと思います。

身体機能と関連の深い神経内科医としての診療経験を活かすことはもちろんですが、藤が丘病院の院長先生、副院長先生とも密に連携をとり、教えを頂きながら、藤が丘病院と一体という形で運営を図ってまいりたいと思います。そして、医療を受ける方々の生命、健康に加え、生活を支える病院として、至誠一貫を胸にその大きな使命を全うしてまいりたいと思います。

これからの3年間、どうぞご指導のほど、よろしくお願ひ申し上げます。



## 神奈川県がん診療連携指定病院に指定される

藤が丘病院腫瘍内科・緩和医療科 教授 市川 度

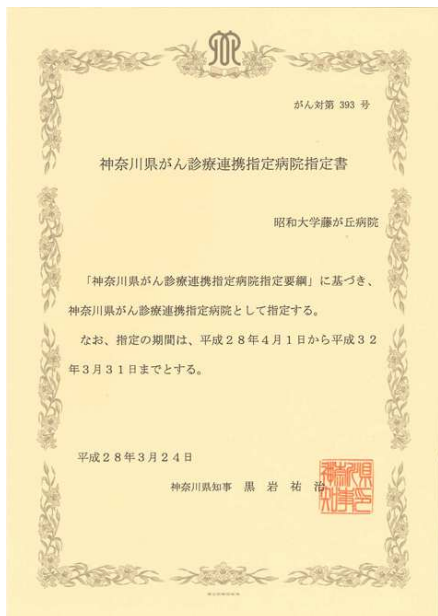
平成 28 年 4 月 1 日から「神奈川県がん診療連携指定病院」に指定され、指定書交付式が 3 月 24 日(木)に神奈川県庁で行われました。これまで多くのがん患者さんを当院へご紹介頂いた地域の先生方のご支援に御礼申し上げます。



全国どこでも、「質の高いがん医療」を提供することを目指して、2007 年 4 月に施行されたがん対策基本法に基づき、神奈川県では都道府県がん診療連携拠点病院として神奈川県立がんセンターが、二次医療圏毎の地域がん診療連携拠点病院として横浜北部は横浜労災病院、昭和大学横浜市北部病院、済生会横浜市東部病院の3病院が厚生労働大臣より指定されました。

2011 年 4 月からは専門的ながん治療や緩和ケアの提供、地域のがん診療を担う医療機関との連携、がん患者に対する相談支援や情報提供など質の高いがん医療を提供する役割を担う病院として、国の指定する地域がん診療連携拠点病院と同等の機能を有する病院として神奈川県知事が独自に指定する「神奈川県がん診療連携指定病院」が策定されました。今までに関東労災病院、横浜南共済病院、

平塚共済病院、けいゆう病院、横浜医療センター、済生会横浜市南部病院、平塚市民病院、湘南鎌倉総合病院の 8 病院が指定されていました。今年度新たに当院も含め 3 病院が指定され、10 病院(関東労災病院は地域がん診療連携拠点病院に指定)となりました。



今後は、外科治療、放射線治療、薬物療法などの各領域の専門家が治療方針を臓器横断的に検討する体制、治療初期から終末期までシームレスな緩和医療を行う体制、小児がんや AYA 世代へ過不足のない対応ができる院内の協力体制を今以上に充実させ、地域の患者さんへより質の高いがん治療を提供してまいりたいと思います。引き続き、ご指導・ご支援の程よろしく願います。

## 平成 27 年度附属病院看護業績賞を受賞して

藤が丘病院看護部 佐々木 舞子、大場 さゆり

「非侵襲的陽圧換気療法(NPPV)マスクによる褥瘡予防対策～基準作成と体験学習の効果～」で平成27年度附属病院看護業績賞をいただきました。藤が丘病院の褥瘡発生は減少傾向にありますが、医療関連機器圧迫による褥瘡発生(MDRPU: medical device-related pressure ulcers)は当院のⅢ度以上の褥瘡発生の約半数を占めます。そこで、WOC 看護師を中心に褥瘡対策委員会が MDRPU に対するマニュアルを作成し、勉強会の実施を通して周知徹底を図ったことが今回の研究の成果につながったものと思います。本研究を通し、統一した看護の重要性と個別性を考慮した患者指導が大切であると改めて感じました。



今後も、一人一人の患者さんの看護を深め、学びを生かした技術を現場に取り入れ、頑張っていきたいと思っております。

### 院内部署紹介

#### リハビリ病院での栄養科業務について

リハビリ病院栄養科 玉木 大輔 長谷部 茂美

栄養科の主な業務は安全で美味しい食事の提供ですが、NST(栄養サポートチーム)など、さまざまな職種と関わる機会が増えてきました。ここではリハビリテーション病院ならではの業務を紹介します。

○VF 検査: 毎週月・木曜日、嚥下障害患者の嚥下造影検査が実施されます。リハビリテーション科医師、言語聴覚士、歯科医師、管理栄養士などが参加し、栄養科は検査に必要な、バリウム入りのコーヒーゼリー、ヨーグルト、ペースト1品、ゆかり入り粥、スクランブルエッグとケチャップ、水を調理し用意をします。



○入院時心臓リハビリテーション集団指導: 第 2・4 週の水曜日、心臓リハビリテーション室で実施され、動脈硬化と食事について、適切なエネルギー量、脂質、食塩、食習慣の問題点などについて指導しています。



○高度肥満カンファレンス: 毎月1回、減量を行うために内分

泌内科医師、運動療法士、看護師、管理栄養士で、体液量測定による身体測定、適切な運動療法、食習慣の問題点などを提案し検討しています。なお、心臓ペースメーカーの挿入、足を切断された患者さんの体液量測定できませんが、寝たきりでも測定できる体液量測定機がありますので、筋力量・基礎代謝の測定等にご依頼ください。

院内部署紹介

7階西病棟をご紹介します!!

藤が丘病院7階西病棟看護師 藤田 みどり

7階西病棟は「脳神経センター」35床と「脳卒中ケアユニット(SCU)」の3床を併せ持つ病棟です。神経内科・脳神経外科医師と、若手からベテラン看護師で構成される看護チームが担当して



います。急性期脳卒中の患者さんを受け入れる SCU では、脳血管障害の患者さんに24時間対応できるように脳卒中ホットラインを設置しています。脳神経系の病気は、意識障害や言語障害、手足の麻痺、食べ物が飲み込みにくいなどの症状により日常生活に大きく影響する場合があります。このため、治療・看護・リハビリテーションだけでなく、口腔ケアや褥瘡対策、栄養サポートなどの専門チームやソーシャルワーカーとも連携し、患者さんの療養過程をサポートさせて頂いています。今後も、各医療者のコミュニケーションを通じて各々の能力を最大限に発揮し、患者さんやご家族の方に安心していただける質の高い医療の提供を目指していきます。

平成27年度 横浜三病院合同定年退職者送別会が開催されました

平成28年3月17日(木)、横浜市内にある横浜三病院(藤が丘病院、藤が丘リハビリテーション病院、横浜市北部病院)合同の「平成27年度 横浜三病院合同定年退職者送別会」が新横浜プリンスホテルにて開催されました。平成28年3月末で、藤が丘病院4名、リハビリ病院3名、北部病院2名の教授が定年を迎えました。また藤が丘病院眞田院長とリハビリ病院三邊院長が退任となります。



(藤が丘病院管理課 毛利 綾香)

平成28年3月で定年を迎えられた教授

【藤が丘病院】



消化器内科  
高橋 寛  
(平成22年1月就任)



血液内科  
森 啓  
(平成21年10月就任)



腎臓内科  
吉村 吾志夫  
(平成22年11月就任)



呼吸器外科  
鈴木 隆  
(平成16年11月就任)



呼吸器内科  
國分 二三男  
(平成27年4月就任)

【リハビリテーション病院】



内科系診療科  
橋本 通  
(平成22年4月就任)



整形外科・スポーツ整形外科  
筒井 廣明  
(平成22年4月就任)



リハビリテーション科  
水間 正澄  
(平成20年4月就任)

市民公開講座が開催されました

3月19日(土)午後、藤が丘病院C棟臨床講堂にて市民公開講座『慢性C型肝炎の最新の治療』が開催されました。今回の公開市民講座は、毎年2回行っている昭和大学公開講座とは趣が異なり、横浜市からの委託を受けて開催されました。横浜市健康福祉局では、C型肝炎対策の一環として一般市民向けの講演会および相談会を市内の病院に委託して実施しています。当日は、本院消化器内科の井上准教授と聖マリアンナ医科大学病院消化器・肝臓内科の渡邊講師による『最新の治療』、本院薬局の田中助教による『薬の飲み合わせ』と神奈川県保健福祉局保健医療部の島中氏による『神奈川県の肝炎治療医療費助成制度』の4題の講演と質疑応答が行われました。



(藤が丘病院管理課 高橋 良治)

## 藤が丘病院 初期臨床研修修了式が 開催されました

3月25日(水)午後、昭和大学藤が丘病院B棟6階講堂にて、藤が丘病院初期臨床研修修了式が開催されました。昨年より昭和大学附属病院全体の修了式に加えて、藤が丘病院独自の修了式を開催しており、今年も各診療科の先生方にも研修修了者の門出を祝って頂くことができました。

修了式では高橋副院長の祝辞、乾杯に続き、市川研修管理委員長より修了者へ修了証と記念品が授与されました。修了者からは2年間の研修の思い出や4月からの抱負などのスピーチがあり、盛況の内に閉会しました。この場を借りて、お忙しい中ご参加頂きました先生方、初期臨床研修プログラムにご尽力頂きました先生方に感謝申し上げます。



(藤が丘病院管理課 吉田 なつみ)

## 201名の新入職員を迎えました

藤が丘病院、藤が丘リハビリテーション病院では、4月から看護師133名をはじめとする新入職員177名と臨床研修医24名の計201名のフレッシュなスタッフを迎えました。

4月1日(金)午前に明治神宮会館で行われた昭和大学新入職員入職式終了後、臨床研修医は旗の台校舎に、そ

れ以外の職員は藤が丘病院に場所を移して4月7日(木)までオリエンテーションが行われました。4月4日(月)には全職種合同オリエンテーションが行われ、医療安全、個人情報、接遇・マナー、院内感染の講義と消防訓練が行われた後、夕方より歓迎会が開催されました。

(藤が丘病院管理課 吉田 なつみ)

## 無伴奏チェロリサイタルが開催されました

4月9日(土)の午後2時より、無伴奏チェロリサイタルが藤が丘病院1階初診受付前ロビーで開催され、約80名の聴衆はチェロの美しい調べに聴き入りました。

当日演奏していただいたのは、チェコ国籍でメキシコ在住のヴラダン・コチ氏です。コチ氏はソリストとして世界中で演奏活動をされ「祈りのチェリスト」と呼ばれています。

コチ氏はチェコスロバキアが旧ソ連の占領



下にあった暗黒の時代、軍事政権にくみせず、兵役を拒否したため投獄された過去を持っています。自身の辛い囚人経験から、音楽を自分のキャリアや利益のために用いるのではなく、辛い状況下にある人のために使おうと決心し、病院やホスピス、福祉施設などでチャリティーコンサートを数多く行っています。当日は来日直後で体調が万全でないにもかかわらず、G.カサドの「プレリュードファンタジア」を始め、4曲の素晴らしい演奏を披露していただきました。

(藤が丘病院管理課 高橋良治)

## 診療統計 2016年2月・3月

	藤が丘病院		リハビリテーション病院	
	2016年2月	2016年3月	2016年2月	2016年3月
外来患者数	26,657人 (1,110.7人)	28,877人 (1,110.7人)	4,257人 (1,77.4人)	4,493人 (1,72.8人)
入院患者数	15,454人 (532.9人)	16,991人 (548.1人)	4,747人 (163.7人)	5,416人 (174.7人)
紹介率	86.1%	88.7%	57.7%	61.6%
逆紹介率	56.4%	77.2%	78.6%	74.1%

### 《編集委員》

田中 淳一	佐々木 春明	市川 度	池田 裕一	小岩 文彦	磯 良崇
芳賀 ひろみ	辻本 さなえ	猪股 里美	出川 美幸	杉山 創	小宅 育代
岩井 譜憲	圓乗 佑太	松尾 悠	高橋 良治	(順不同)	